

基本目標	安心・安全な水道用水の供給
施策の目的	安心・安全な水道用水を供給するため、厚生労働省が定める水質基準より厳しく設定した管理目標値を適切な水質管理体制のもとで維持します。また、水源水質管理対策の充実を図り、水源水質の悪化防止に努めます。

評価結果の概要	次年度以降も事業を継続する。
---------	----------------

主要施策・平成23年度の実施	平成23年度の実施結果・評価結果																		
<p>適切な水質管理の継続 トリハロメタン検査を毎週実施(白浜浄水池供給水、浄水場ろ過水)し、白浜浄水池供給水の総トリハロメタン濃度を管理目標値の0.040 mg/L以下に管理する。 原水中のカビ臭発生プランクトンの状況を毎週検査し、必要に応じて、臨時にカビ臭の検査や粉末活性炭による処理の強化を図る。 塩素注入率を適切な変更により、供給地点における残留塩素濃度を0.4～0.7 mg/L程度を目標に制御する。</p>	<p>一時的に目標値を超過 することがあったが、検査結果をもとに粉末活性炭注入率を適宜変更したことから、管理目標値を長期に渡って超過するようなことは無かった。また、年間平均値においても目標とする0.040 mg/L以下とすることができた。 0.040 mg/Lを超過した回数 5 / 51(回)</p> <p>白浜浄水池における総トリハロメタン濃度(mg/L)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>最大</th> <th>最小</th> <th>平均 (全51回測定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.043</td> <td>0.012</td> <td>0.033</td> </tr> </tbody> </table> <p>浄水・供給水すべてが管理目標値の0.000005 mg/L以下となった。カビ臭以外の臭気についても、異常は感じられなかった。</p> <p>カビ臭濃度(平成23年度中の最高値を記載)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ジェオスミン</th> <th>2-メチルイソボルネオール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理目標値</td> <td>0.000005 mg/L以下</td> <td>0.000005 mg/L以下</td> </tr> <tr> <td>浄水</td> <td>0.000001 mg/L未滿</td> <td>0.000001 mg/L未滿</td> </tr> <tr> <td>供給水</td> <td>0.000001 mg/L未滿</td> <td>0.000001 mg/L未滿</td> </tr> </tbody> </table> <p>各供給地点における残留塩素濃度月間平均値は、すべて0.4～0.7 mg/L程度となり、目標どおり制御できた。</p>	最大	最小	平均 (全51回測定)	0.043	0.012	0.033		ジェオスミン	2-メチルイソボルネオール	管理目標値	0.000005 mg/L以下	0.000005 mg/L以下	浄水	0.000001 mg/L未滿	0.000001 mg/L未滿	供給水	0.000001 mg/L未滿	0.000001 mg/L未滿
最大	最小	平均 (全51回測定)																	
0.043	0.012	0.033																	
	ジェオスミン	2-メチルイソボルネオール																	
管理目標値	0.000005 mg/L以下	0.000005 mg/L以下																	
浄水	0.000001 mg/L未滿	0.000001 mg/L未滿																	
供給水	0.000001 mg/L未滿	0.000001 mg/L未滿																	
<p>水質管理体制の充実 平成23年度水質検査計画で定めた水質検査を確実に実施する。 平成24年度水質検査計画を策定し、公表する。 水質検査機器の点検整備を計画的に実施する。 水質検査機器更新計画を策定する。 厚生労働省や千葉県が実施する精度管理事業に参加し、水質検査に係る技術水準の把握に努める。 分析精度の向上を図るため、内部精度管理を実施する。 水安全計画策定の体制を整備し、現状把握、危害分析を行う。</p>	<p>平成23年度水質検査計画のとおり、検査を遅滞なく実施した。 ・平成24年度水質検査計画を平成24年3月に策定、公表した。 水質検査機器の点検整備を行い、水質基準50項目中46項目の自己検査体制を維持した。自己検査が行えない4項目については、委託により検査を実施した。 ・水質検査機器の修理対応期限や重要度を考慮した更新計画を策定した。 厚生労働省、千葉県が実施する外部精度管理事業に参加し、ともに統計的評価において異常は見られなかった。 ・内部精度管理事業を実施し、異常は見られなかった。 策定・推進チームを発足、策定スケジュールを作成した。 ・浄水処理施設のフローチャートの作成、水源及び浄水場から供給地点までの各種情報を取りまとめた。</p>																		

<p>水源管理体制の充実 水質検査計画に基づく、定期的な水源水質検査を実施し、長柄ダムの水質傾向を把握する。</p> <p>において、植物プランクトンの異常繁殖の傾向が見られた場合、抑制対策を講じるように(独)水資源機構に働きかける。</p> <p>長柄ダム周辺を調査し、新たな汚染源が確認された場合は、水源汚染マップを更新する。</p> <p>水源汚染の要因となり得る事業場等があれば、(独)水資源機構とともに水質汚染防止への協力を要請する。</p> <p>利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会や(独)水資源機構主催の水質勉強会への参加</p> <p>九十九里地域水道企業団との情報交換</p>	<p>検査の結果、水質は平年並みで悪化する傾向は見られなかった。</p> <p>植物プランクトンの検査結果を水資源機構に提供し、情報の共有化を図った。浄水処理の強化が必要となった事象について水資源機構へ報告した。</p> <p>長柄ダム周辺調査及び水資源機構への聞き取り調査を実施した結果、新たな汚染源は確認されなかった。</p> <p>水源汚染に繋がる事象が確認され、水資源機構を通じ原因施設へ改善を求めたところ、適切な処置がなされた。</p> <p>利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会情報共有化分科会や(独)水資源機構主催の水質勉強会へ参加し、水源水質に係る情報の共有化を図った。</p> <p>・水源水質に係る事項について、九十九里地域水道企業団と情報交換を行なった。</p>
---	--

<p>主な事業の 取組結果</p>	<p>安心・安全な水道用水を供給するための「適切な水質管理の継続」、「水質管理体制の充実」、「水源管理体制の充実」に係る施策は概ね達成している。</p>
------------------------	--

基本目標	安定的な水道用水の供給
施策の目的	安定的な水道用水を供給するため、施設の適正な維持管理を図るとともに、特に水管橋の耐震補強や災害等緊急時の危機管理対策の充実強化を図ります。

評価結果の概要	次年度以降も事業を継続する。
---------	----------------

主要施策・平成23年度 of 取組	平成23年度 of 取組結果・評価結果															
<p>電気・機械設備の点検整備計画による点検整備の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検整備計画による点検の実施。 点検結果・修繕実績の整理、必要に応じて計画を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> 点検整備を計画どおり、実施した。 突発的に生じた機械の故障についても対応した。 															
<p>管路の維持管理の実施</p> <p>点検整備の実施</p> <p>水管橋塗装:5橋、緊急遮断弁点検整備:10基 大型仕切弁点検整備:11基、空気弁点検整備:66基 電気防食工事の実施(12箇所)</p> <p>房総導水路施設整備計画等検討連絡会及び担当者会議において、施設整備計画の検討を実施(担当者会議:年2回以上開催)。</p>	<p>点検整備計画に基づき、点検整備を実施した。</p> <p>平成23年度点検整備実施内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>水管橋塗装</th> <th>緊急遮断弁</th> <th>大型仕切弁</th> <th>空気弁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>5橋</td> <td>10基</td> <td>11基</td> <td>66基</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3橋¹</td> <td>10基</td> <td>11基</td> <td>66基</td> </tr> </tbody> </table> <p>¹ 現場精査の結果、予定した水管橋以上に劣化が著しい水管橋があったため、その整備を優先し、予算内での実施を考慮して当初の5橋から3橋に変更した。</p> <p>防食対策が必要な12箇所について、すべて実施した。</p> <p>東日本大震災により房総導水路施設が被災し、水資源機構は災害復旧工事を優先して対応していたため、房総導水路施設整備計画等検討連絡会及び担当者会議は、担当者会議1回の開催にとどまった。</p>		水管橋塗装	緊急遮断弁	大型仕切弁	空気弁	計画	5橋	10基	11基	66基	実績	3橋 ¹	10基	11基	66基
	水管橋塗装	緊急遮断弁	大型仕切弁	空気弁												
計画	5橋	10基	11基	66基												
実績	3橋 ¹	10基	11基	66基												
<p>水管橋の耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> 現計画の対象水管橋すべての耐震補強設計業務の完了。 耐震補強年度計画の見直し。 	<ul style="list-style-type: none"> 現計画の対象水管橋すべて(13橋)の耐震補強設計業務を完了した。 耐震補強設計業務の結果、補強対象水管橋及び事業費の変更が生じたため、耐震補強年度計画の見直しを実施した。 <p>水管橋耐震補強年度計画修正概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象箇所</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初計画</td> <td>13橋</td> <td>605,828千円</td> </tr> <tr> <td>変更計画</td> <td>13橋</td> <td>1,040,779千円</td> </tr> <tr> <td>見直し内容</td> <td>1橋追加 1橋削除</td> <td>434,951千円増</td> </tr> </tbody> </table>		対象箇所	総事業費	当初計画	13橋	605,828千円	変更計画	13橋	1,040,779千円	見直し内容	1橋追加 1橋削除	434,951千円増			
	対象箇所	総事業費														
当初計画	13橋	605,828千円														
変更計画	13橋	1,040,779千円														
見直し内容	1橋追加 1橋削除	434,951千円増														

<p>危機管理体制の充実</p> <p>平成 22 年度の災害等の発生状況を踏まえて、危機管理体制の問題点の把握に努め、適切に見直しを図る。</p> <p>事故・災害発生時において、迅速かつ的確な対応を確立するため、実践的な訓練を行う。</p> <p>緊急用資機材の備蓄の拡大を検討。</p> <p>他団体との「相互応援協定」及び民間業者との「緊急工事に関する協定」を今後も継続し、応急復旧が迅速に行なわれるように備える。</p> <p>平成 23 年度の事務分掌に則り、湯水対策本部運営要領の各課の事務分掌を見直す。</p> <p>利根川上流ダム群、県内関係ダムの貯水状況を把握し、現状把握を行う。</p>	<p>緊急時対応マニュアルの見直しを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内水道事業者及び受水団体に対して、非常用自家発電設備の設置状況、燃料備蓄量、停電時の水処理の可否等の調査を実施した。 ・メールによる緊急連絡訓練を実施した。 <p>緊急用資機材の備蓄について、仮配管材料の必要性を検討した結果、備蓄することとした。</p> <p>「相互応援協定」(千葉県内水道事業者、関東地区水道企業団、日本水道協会千葉県支部)及び「緊急工事に関する協定」(管メーカー10社、土木業者8社)を更新した。</p> <p>湯水対策本部運営要領の各課の事務分掌を見直し、9月30日付けで改正した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当企業団受水団体の関係ダム、長柄ダムの貯水状況ととりまとめ、企業団内で定期的回覧し、状況を把握するようにした。利根川上流ダム群の貯水状況は、関連のホームページで把握するようにしている。
--	--

<p>主な事業の 取組結果</p>	<p>安定的な水道用水を供給するため、浄水・送水等の施設の適正な維持管理、危機管理対策の充実強化に係る施策は、概ね達成している。</p>
-----------------------	--

基本目標	水道運営基盤の強化
施策の目的	将来的に安定した水道用水供給事業を維持していくため、簡素で効果的な経営体制の構築に努めるとともに、今後の施設の維持費、建設工事等の各種コストについても抑制・縮減に努めるなど経営の効率化を図り、累積欠損金の早期解消に努めます。また、高い技術力、経営力、財務力を有する事業者とするため、水平統合を推進します。

評価結果の概要	次年度以降も事業を継続する。
---------	----------------

主要施策・平成23年度の取組	平成23年度の取組結果・評価結果								
財政健全化の推進 ・利率5%以上の水資源機構割賦負担金の繰上償還を検討、実施。 ・定期預金預託、国債等の購入による、確実有利な運用。	・水資源機構割賦負担金(第二次)の繰上償還を実施し、9,018万円の利息軽減(借換債利息分含む)を図った。 ・国債等の購入及び定期預金への預託等、資金運用により、約276万円の営業外収益が見込まれる。								
組織、職員及び給与の管理 ・南房総地域の水道用水供給事業を取り巻く環境を踏まえた合理的な組織像の検討。 ・県・構成市町の給与水準の改善状況にあわせた、適正な給与改正。	・平成24年度以降の採用計画等を策定した。 ・千葉県人事委員会勧告を踏まえ、構成市町における改正動向を勘案して、概ね40歳代以上の職員の受ける号給に限定して給与を引き下げた。								
施設の適正な更新 資産の状況調査(過去の実績、資産の取得年度、帳簿原価等検討に用いる実績データを整理) 送水ポンプ棟外壁改修の実施。	更新計画を見直すため、点検結果や修繕実績を整理した。 構造物の延命化を図るため、計画どおり送水ポンプ棟外壁改修を実施した。								
水平統合の推進 ・水平統合の早期実現に向け、検討会の実施を県に対し働きかける。	各団体において、東日本大震災の災害復旧を優先していたため、団体間の調整がなされなかった。								
技術基盤の確保 ・職員研修計画に基づく研修等への受講の徹底。 ・研修報告書の提出の徹底。	・研修は、職員研修計画に基づいて受講されており、目標値(PI:10.0以上)を達成した。 平成23年度 業務指標(PI) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>内部研修</th> <th>外部研修</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務指標(PI)</td> <td>0.533</td> <td>13.233</td> <td>13.766</td> </tr> </tbody> </table> 業務指標(PI):職員が研修を受けた時間・人数を全職員数で割ったもの。 ・研修報告書は、すべて提出された。		内部研修	外部研修	計	業務指標(PI)	0.533	13.233	13.766
	内部研修	外部研修	計						
業務指標(PI)	0.533	13.233	13.766						
情報公開の推進 ホームページの内容を精査、最新情報を掲載。	ホームページの更新を速やかに実施し、情報提供に努めている。								
施設見学の実施 ・施設見学において、わかりやすい説明に努める。 ・構成市町への啓発(施設見学概要等を送付等)。	・平成23年度の施設見学は、12校379人(夷隅郡市の小学校)が企業団を訪れた。 ・施設見学のパンフレットを、よりわかり易くするため、見直し作業を行なった。								

主な事業の取組結果	東日本大震災の影響により、水平統合について進展はなかったものの、組織・職員及び給与の管理、技術基盤の確保といった効果的な経営体制の構築に係る施策や計画的な施設の更新等について、概ね達成している。 財政健全化に係る施策も概ね達成しており、平成23年度末における累積欠損金は約16億円に減少する。
-----------	---

基本目標	環境・エネルギー対策の強化
施策の目的	水道用水供給事業による環境負荷を軽減するため、エネルギー消費量の削減に努めるとともに、浄水汚泥や建設副産物の有効利用、建設資材の再生資源利用を図ります。

評価結果の概要	次年度以降も事業を継続する。
---------	----------------

主要施策・平成23年度の実施	平成23年度の実施結果・評価結果																				
<p>エネルギー消費原単位の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定事業者としての法的義務の達成。 ・省エネのための運転方法等の検討。 ・太陽光発電等、他のエネルギーの活用を検討。 	<p>・平成23年度は、エネルギーの使用に係る原単位を低く抑えることができた。</p> <p>年度別エネルギー原単位推移</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>原単位</td> <td>0.138</td> <td>0.138</td> <td>0.135</td> </tr> </table> <p>エネルギー効率を表す値。省エネルギーの進捗状況を見る指標として使用される。</p> <p>・省エネ推進会議を年2回開催した。</p>	年度	H21	H22	H23	原単位	0.138	0.138	0.135												
年度	H21	H22	H23																		
原単位	0.138	0.138	0.135																		
<p>浄水汚泥の有効利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬出する汚泥を全量有効利用する。 ・セメント原料以外の有効利用が可能か検討する。 	<p>・浄水汚泥は全量(年間搬出量 1,875t)、セメント原料として再資源化された。</p> <p>・セメント原料以外の再利用方法を調査したところ、粒状改良土として再利用を行なっている業者があり、その業者に問い合わせた結果、汚泥の再利用は可能という回答を得た。</p>																				
<p>建設副産物の有効利用</p> <p>搬出する建設副産物の再資源化に努める。</p> <p>再資源化率・・・特定建設資材廃棄物 100% 建設発生土 88%</p>	<p>搬出する建設副産物の再資源化に努めている。</p> <p>建設副産物の再資源化率</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>特定建設資材廃棄物</td> <td>建設発生土</td> </tr> <tr> <td>再資源化率</td> <td>100%</td> <td>0%</td> </tr> </table> <p>建設発生土の再資源化は、埋立処分と比べ、約4倍の費用がかかるため、再生資源率0%となった。</p>		特定建設資材廃棄物	建設発生土	再資源化率	100%	0%														
	特定建設資材廃棄物	建設発生土																			
再資源化率	100%	0%																			
<p>建設資材の再生資源利用</p> <p>利用する建設資材について、経済比較をしたうえで最も近いプラントからの搬入を検討する。</p> <p>再生資源利用率・・・埋戻し材・砕石 88% アスファルト混合物 100%</p>	<p>・建設資材の利用にあたり、経済比較を行なったところ、砕石・アスファルト混合物の再生資源利用率は100%となった。</p> <p>・埋戻し材の再生材は、山砂と比べ約2.3倍の費用がかかるため、再生資源利用率は0%となった。</p> <p>利用建設資材の経済比較結果</p> <p style="text-align: right;">単位:円</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>単価</td> <td>再生材単価</td> <td>採用単価</td> </tr> <tr> <td>埋戻し材</td> <td>1,650</td> <td>3,800</td> <td>1,650</td> </tr> <tr> <td>砕石(クラッシャーラン)</td> <td>4,650</td> <td>2,300</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>砕石(粒調)</td> <td>4,700</td> <td></td> <td>4,700</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td>11,200</td> <td>10,100</td> <td>10,100</td> </tr> </table>		単価	再生材単価	採用単価	埋戻し材	1,650	3,800	1,650	砕石(クラッシャーラン)	4,650	2,300	2,300	砕石(粒調)	4,700		4,700	アスファルト混合物	11,200	10,100	10,100
	単価	再生材単価	採用単価																		
埋戻し材	1,650	3,800	1,650																		
砕石(クラッシャーラン)	4,650	2,300	2,300																		
砕石(粒調)	4,700		4,700																		
アスファルト混合物	11,200	10,100	10,100																		

主な事業の実施結果	水道用水供給事業による環境負荷を軽減するための「エネルギー消費原単位の削減」、「浄水汚泥の有効利用」、「建設副産物の有効利用」及び「建設資材の再生資源利用」に係る施策は、概ね達成している。
-----------	--